

製品紹介

「スノードライバランス」

「スーパーライザー」

高能力牛群の飼養が一般的になるにつれ、乳牛の生産性に大きな影響を与える代謝病の発生をいかに抑えるかが、飼養管理技術の中心となつていきます。代謝病は分娩前後に多く発症することから、乾乳から泌乳最盛期までの管理を見なおす事で成果を挙げようとする動きが、ここ数年見られるようになってきています。

当社では配合飼料やサプリメント飼料について、様々なラインアップを用意し、皆さんのご利用をお待ちしておりますが、今回は前述のような、乾乳期から泌乳最盛期の管理に最適な飼料二つについて紹介します。

乾乳後期専用配合飼料

「スノードライバランス」

乾乳期は胎児が急速に発育し、次の分娩を間近に控えた期間であると共に、乳腺細胞やルーメンを休息させ、また再生して機能回復

させる期間です。特にクローストップ期と呼ばれる分娩予定の三週間前から分娩までの期間は、胎児の成長や乳腺組織の発達のため、たんばくを始めとする各種栄養素に対する要求量が増します。しかし、この期間におけるホルモンバランスの崩れや、急激に成長する胎児がルーメンを圧迫することにより、乾物摂取量は減少してきます。この栄養要求量を満たすには、飼料中の栄養濃度を高める必要があります。

更に高産次や高泌乳の乳牛では、低カルシウム血症予防のためにDCAB(飼料中の陽イオン・陰イオンバランス)の調整が必要とされるなど、泌乳期や乾乳前期とは異なる飼養管理が要求される時期になります。

スノードライバランスはクローストップ期に必要とされる栄養バランスを考え、バイパスたんばくを強化し、加えて陰イオン剤の配合でDCAB調整を可能にしました。牛の持つ能力を分娩直後から最大限発揮できる様に設計した、乾乳後期専用飼料です。分娩予定の三週間前から一日量三〜四kgを給与して下さい。或いは2kg程度を他の配合飼料と混合して給与し

ます。今までの管理の中で後産停滯や起立不能などの疾病、食い止まり、ピーク乳量が低いなどの症状でお困りの方は、ぜひスノードライバランスの使用をご検討下さい。

乳牛用総合栄養剤

「スーパーライザー」

分娩直後の乳牛は乳量の立ち上がり之急であるのに対し、食込み量(乾物摂取量)の立ち上がりは穏やかであり、要求量が充足できないために体脂肪を動員しながら泌乳を続けます。この動員された体脂肪が円滑にエネルギーに変換されなければ、体内にケトン体や脂肪酸が多くなり、それを処理し切れずにケトシスや脂肪肝などの代謝病に陥ってしまいます。これらの脂質代謝を円滑にする補酵素的な役割を持つ、ビタミンB群の添加が有効であることが知られています。乳牛用総合栄養剤「スーパーライザー」にはビタミンB群のナイアシン、パントテン酸、コリン等が混合され、脂質代謝を円滑にする効果があります。

体脂肪の動員は乾乳期、特にクローストップ期から既に起こっている(胎児や乳腺の発達に必要なエネルギーは、体脂肪を動員しな

がら供給される)ので、スーパーライザーの給与は分娩予定の二〜三週間前から行うのが効果的です。分娩後から約三か月間、BCSが回復し受胎するまで、一日一頭当たり一〇〇gを配合飼料などにふりかけて給与して下さい。

また、スーパーライザーにはビタミンB群の他にも、家畜の繁殖に関与するビタミンAやビタミンE、カルシウムやリンの吸収・利用に関与するビタミンD₃、マグネシウムや鉄、コバルトやマンガンなどの不足しがちなミネラル類も豊富に含み、更にルーメン内での微生物の活性促進や、飼料の消化を助けるとされるUGF源も含有しています。乳牛の総合的な栄養剤としてご利用いただけます。育成牛では一日一頭当たり二五〜五〇gを、初回発情前後から受胎までの間(八か月から一五か月)でご利用下さい。(千研 岡田)

雪印種苗株式会社

編集発行人 菊地 庸

本社 062-8550 札幌市豊平区美園二条一丁目

TEL(〇一一)八三一―二六一

東北事業部

024-0004 北上市村崎野

TEL(〇一七)六六一―二二六

TEL(〇一七)七七一―三三〇七

FAX(〇一七)七七一―三三〇七